

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム 奥阿賀大輪の里

作成日: 平成 31 年 2 月 11 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	開設時に作った理念と今の職員の思いはどうか？と考えた時に、今の状況と今後マッチしないのであれば、見直して皆が向かうべき方向をもう一度考えた方がよいと思われる。	理念の見直しが必要かどうかををふまえた上で、事業所としての今後の方向性を決め利用者が安心して暮らせるようにする。	開設時に作った経緯の話を確認したうえで、今の理念はどうか？社長と職員全員で話し合っ変更の必要があれば検討して、皆が納得のできる理念にする。	6ヶ月
2	33(12)	「重度化や終末期の対応について」は当事業所は看護師がいないので、病院や診療所と連携を取りながら行っているが、終末又は容態の急変時等は医療機関にお願いしている。事業所での看取りは極めてむずかしい。	終末等については、家族、利用者が安心して過ごしていただけるように、入所時にきちんと方針を説明して理解して頂く。	利用者、家族と事業者双方が方針を理解、共有するために明文化の検討をとの助言を頂いたので、検討したい。	3ヶ月
3	35(13)	火災等の訓練は実施しているが、それ以外の雪害、大雨、停電等の災害が予測されるので、想定したマニュアルを含めた物品等の準備が必要と思われる。	どのような状況下でも、可能な限り利用者と職員の安全、安心が確保されるようにする。	利用者と職員の命を守る為に飲食物、生活上の必要な物資の準備(備蓄)を検討したい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月